

畑にはこんな夏野菜たちがグン育ってます!!

おいしい実がたくさん収穫できよう楽しみにしてくださいね!!



"コンパニオンプランツ"

植物の成長を促したり、防虫効果のある植物のことをコンパニオンプランツといいます。今回は下記の花や野菜と一緒に植えました

ミナモンバジル

トマトと一緒に植えると互いにおいしくなってくれます

ニラ

そのニオイのため、防虫効果があります。

マリーゴールド

土の中のセンチュウを抑制して、畑のいろいろな虫を退けるのでオススメです。

その他にもローズマリーやタイム、チャイブ、ニンニクなども防虫効果があるので、混植しておくといい!



Lycopersicon esculentum ミニトマト

花色: ○ 日照: ○
ナス科/一年草/原産地: ペルー / 開花期: 6~8月 / 種子まき: 3~4月 / 花径: 1cm / 草丈: 30~80cm



らせん状の支柱



初めてトマトを育てるなら、小さな実を鈴なりにつけるミニトマト(プチトマト)がおすすめ。育てやすく、観賞用としても楽しめます。

●——育て方のポイント
5月の連休ころが植えつけに最適。ナス科の植物は連作を嫌うので、過去5年ぐらいいはナスやピーマン、トウガラシを植えたことのない場所で育てます。種子から育てる場合には、9cmのポリポットに3~4粒まいて、5mmぐらいい覆土し、本葉1~2枚で1本に間引きします。畑やコンテナに定植したあと、下から5~6段のわき芽は5~6cmのときに摘み、さし穂にすれば苗として使えます。高く伸びてきた茎は支柱に結びつけますが、らせん状の支柱なら、巻きつけるだけで手間がいらせん。

Momordica charantia
ニガウリ
[苦瓜]、レイシ、ツルレイシ、ゴーヤ
花色: ○ 日照: ○
ウリ科/一年草(つる性)/原産地: 東南アジア / 開花期: 6~10月 / 種子まき: 5~6月 / 花径: 4cm / 草丈: 100~200cm

沖縄料理で知られるニガウリは苦みのある味と切れ込んだ涼しげな葉、レモン色の花が美しい植物です。ポットに種子をまくか、一晩水につけて畑に3~4粒直まきして、間引きします。フェンスにからませても、支柱を立てて花壇に植えてもよいでしょう。

Capsicum annuum cvs.
カラーピーマン
ピーマン
実色: ●●●● 日照: ○
ナス科/一年草/原産地: 熱帯アメリカ / 開花期: 5~10月 / 種子まき: 4~5月 / 実径: 10cm / 草丈: 50~70cm

緑色のピーマンより甘味があります。育て方はナスやトマトと同じ。支柱もしっかり立てると大きな実をつけます。実ははじめは緑色ですが、熟すと赤や黄色になります。株元の乾燥を嫌うので、サラダナやツルナなどの野菜や花と混植してマルチング代わりに。

Solanum melongena
ナス
[茄子]、ナスビ
実色: ● 日照: ○
ナス科/一年草/原産地: インド / 開花期: 5~10月 / 種子まき: 4~5月 / 花径: 3cm / 草丈: 60~80cm

ガーデンアクセントにするには、支柱に工夫をこらして、重くてたくさんできる実を目立たせます。苗の購入は連休ごろに、がっしりしたのを選びます。6~7月中旬まで収穫し、7月下旬に各枝の葉を1~2枚残して切り戻すと秋の収穫も楽しめます。10号鉢なら1株植えて、10個ほど収穫できます。